

## 『孫文研究』投稿規程

## 1. 投稿の対象

投稿の対象は、孫文ならびに中国近現代の歴史・社会・文化、近代日中関係の歴史などに関する論文・研究ノート・書評などの、当会会員による未発表原稿とする。使用言語は主に日本語とし、他言語の場合は日本語に翻訳して掲載する。

## 2. 刊行時期および投稿の締め切り

『孫文研究』は、年2回（6、12月末）刊行とする。投稿締め切りは、6月刊行分については2月末、12月刊行分については8月末とし、他言語による投稿の締め切りは、それぞれ前年12月末、6月末とする。

## 3. 査読と採否の決定

(1) 編集委員会は複数の査読者に投稿原稿の評価を委嘱し、その結果を踏まえて、①採用、②修正の上採用、③不採用、のいずれかを決定する。採否の結果は、査読者のコメントとともに投稿締め切りから2ヶ月以内に通知する。

(2) 採用の場合は、編集委員会が通知する期日までに、最終原稿2部および電子データを編集委員会宛に提出する。

(3) 修正の上採用の場合は、編集委員会が定めた期日までに、修正原稿を送付する。編集委員会は修正内容を確認し、採否を最終的に決定するが、その際、査読者に意見を求める場

合がある。採用の場合は、編集委員会が通知する期日までに、最終原稿2部および電子データを編集委員会宛に提出する。

(4) 最終原稿は『孫文研究』執筆要領に定められた様式に従わねばならない。

(5) 投稿原稿は原則として返却しない。

## 4. 校正、印刷

筆者校正は原則、初校の一回とし、校正段階での内容の変更・追加とみなされる修正は認めない。

## 5. 原稿料、抜き刷り

(1) 原稿料は支払わない。

(2) 抜き刷りは作成しないが、筆者には『孫文研究』2冊と、掲載された論文のPDFデータを進呈する。

## 6. その他

本誌に掲載された論文などの著作権は、孫文研究会に属する。

## 7. 投稿および問い合わせ先

〒655-0047

兵庫県神戸市垂水区東舞子町2051

孫文記念館気付孫文研究会『孫文研究』編集委員会

Tel : 078-783-7172 Fax : 078-785-3440

e-mail : sunwen20@aioros.ocn.ne.jp

## 『孫文研究』執筆要領

## 1. 投稿原稿の種類と字数

(1) 論文：400字詰め原稿用紙換算50枚程度（注・図・表・写真などを含む）を原則とする。これを大幅に超える長さの論文の場合は、

数号に分割しての掲載を認めることもある。

(2) 研究ノート：原稿用紙30枚程度。

(3) 書評：原稿用紙20枚程度。評者名・書名（副題）・著者名・版数・出版社・刊行年・

総ページ数を明記すること。

(4) その他：史料解説・学会報告・研究動向・見聞記録・インタビューなど、特に長さは定めず、投稿の都度、編集委員会で決定する。

## 2. 使用言語

(1) 使用言語は主に日本語とし、他言語の場合は編集部にて日本語に翻訳する。

(2) 漢字は日本常用漢字を基本的に使用し、簡体字、繁体字は使用しない（ただし、引用文はこの限りではない）。やむを得ず機種依存文字や特殊文字を使用する場合は、該当箇所を明示する。

## 3. 書式と表記の原則

(1) A4判、横書きとする。

(2) 1ページは40字×30行とする。

(3) 文字フォントは、日本語はMS明朝体、英文はCenturyを使用する。

(4) 注記は文末に一括して記載する。注番号には本文の通し番号でアラビア数字を使用し、当該箇所の右肩に付す。

(5) 原稿には筆者氏名のほか、同ローマ字表記、同所属・肩書きを明記する。

(6) 句読点は全角の「、」「。」を用い、句点は原則としてかぎ括弧を閉じた後におく。注番号をつける場合は、句読点の前、かぎ括弧閉じの後におく。

(7) 数字は、熟語など特別な場合を除き半角のアラビア文字を用いる。ただし「兆、億、万」などの漢数字を用いてもよい。

(8) 括弧は全角を用いる。

(9) 年号は原則として西暦を用いる。必要に応じて、旧暦を使用する場合は、漢数字を使用する。西暦の後に元号などを括弧に入れて併記する、あるいは旧暦表示を主として西暦を括弧に入れるなどの表記も認める。